

広島交響楽団

第21回

# アスティ ふれあい コンサート

2019

## 12月20日(金)

18:30 開演  
(18:00 開場)

### 広島国際会議場 フェニックスホール



ピアノ  
岡田 将

©Yoshiko Muneish

【入場料(全席自由・消費税込み)】  
ペア券/¥4,000(前売りのみ)  
一般/¥2,500(当日¥3,000)  
学生/¥2,000(当日¥2,500)  
※未就学児の入場はお断りします。

【チケット販売所】

エディオン広島本店/福屋八丁堀本店/  
福屋広島駅前店/アスティ/  
中国新聞社読者広報部/中国新聞販売所(取り寄せ)  
チケットぴあ:Pコード 163-366  
ローソンチケット:Lコード 61960

【お問い合わせ先】

アスティ総務課 TEL:082-278-1113  
主催/アスティ・中国新聞社

指揮  
松村 秀明



第1部



どこかで聴いたClassicメロディー  
～踊りの音楽

- ・ドヴォルザーク:スラブ舞曲第1番
- ・ブラームス:ハンガリー舞曲第5番
- ・ワルトイフェル:スケーターズ・ワルツ
- ・チャイコフスキー:バレエ音楽「白鳥の湖」～ 情景
- ・モーツァルト:メヌエット  
～ ディヴェルティメント 二長調 K.334
- ・ポロデン:だったん人の踊り ～ 歌劇「イーゴリ公」



第2部



ガーシュウィンNIGHT with 岡田将

- ・ガーシュウィン:アイガット・リズム(ピアノ独奏) 他
- ・ガーシュウィン:ラプソディ・イン・ブルー



# 第21回 アスティ ふれあいコンサート 2019

第1部では、どこかで一度は耳にしたことのある、おなじみのクラシック・メロディーを取り上げます。“踊りの音楽”をテーマにオーケストラ・サウンドの醍醐味を名曲でお贈りします。

第2部では、リスト国際ピアノコンクール(99年)で日本人初の優勝という栄冠を手にし、圧倒的な存在感を持つピアニスト岡田将をゲストに迎えます。ジャズのエッセンスが融合されたラプソディー・イン・ブルーの共演にご期待ください!



【ピアノ】  
岡田 将

Piano

*Masaru Okada*

福岡県出身。全日本学生音楽コンクール全国大会・中学校の部で第一位受賞。92年第61回日本音楽コンクール第一位、併せて野村賞、E・ナカミチ賞を受賞。桐朋女子高等学校音楽科を首席卒業し、ザルツブルク・モーツァルテウム音楽院に留学。続いて95年ベルリン国立芸術大学に留学し研鑽を積んだ。97年アルトゥール・シュナーベルコンクール第一位とスタインウェイ賞を受賞。99年にはオランダの第5回リスト国際ピアノコンクールで日本人として初めて優勝し、ドイツ国内を中心にヨーロッパ主要都市やNYでリサイタルを開催、ゾルタン・コチシュ指揮ハンガリー国立管弦楽団と共演し大きな成功を収めた。日本では、新日鉄コンサート、日本シヨパン協会例会、故園田高弘氏の推薦によるトッパンホールの“旬のピアニストシリーズ”に出演。圧倒的なスケール感と緻密な構成力が高い評価を得、大きな反響を呼んだ。04年、オール・リストによるデビューCDもリリース。02年第12回出光賞受賞。03年第29回日本シヨパン協会賞受賞。2007年にベルリンより帰国し、現在、神戸女学院大学で後進の指導にあっている。2011年にはリスト生誕200年を記念し、東京と神戸でオール・リスト3回シリーズを開催。NHK-FMで放送されるなど、大好評を博した。2013年春にはバッハ:バルティータ全6曲を一晩で演奏し、音楽界の大きな話題となった。2014年から、2年間にわたるベートーヴェン:ピアノソナタ全32曲シリーズ(全8回)を開催。2018年にはリスト:超絶技巧練習曲全曲コンサートを開催し、音楽ファンに衝撃を与えた。また、同年12月にはスペインの巨匠チェリスト ルイス・クラレットとの共演でCD『ベートーヴェン:チェロ・ソナタ全集』(オクタヴィア/レコード芸術準特選盤)をリリース。高い評価を得ている。



【指揮】  
松村 秀明

Conductor

*Hideaki Matsumura*

慶應義塾大学法学部卒業。大学在学中より洗足学園音楽大学附属指揮研究所にて学び、マスターコースを修了。

これまでに指揮を秋山和慶、河地良智、増井信貴、湯浅勇治の各氏、ピアノを馬場幸希江、クラリネットを四戸世紀の各氏に師事。

2006~2008年の「アフィニス夏の音楽祭」に指揮研究員として参加、2010年度は新日鉄文化財団により新設された指揮研究員のオーディションに合格し、紀尾井シムフォニエッタ東京で研鑽を積む。第11回アントニオ・ペドロッチ国際指揮者コンクールで第3位入賞。

これまでに大阪交響楽団、岡山フィルハーモニック管弦楽団、神奈川県フィルハーモニー管弦楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、九州交響楽団、京都市交響楽団、群馬交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、千葉交響楽団、中部フィルハーモニー管弦楽団、東京交響楽団、東京シティフィルハーモニック管弦楽団、東京都交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、兵庫県立芸術文化センター管弦楽団、広島交響楽団、山形交響楽団、読売日本交響楽団を指揮。2012年にはイタリアのボルツァーノ=トレント・ハイドン管弦楽団に招かれて3公演を指揮、好評を博す。

また、2019年の天皇陛下のご退位と新天皇ご即位にあたり、日本テレビによって制作された楽曲「新時代へ」(佐藤直紀作曲)の録音を指揮(演奏は読売日本交響楽団)。大きな話題となっている。

現在、洗足学園音楽大学非常勤講師。

## 【管弦楽】 広島交響楽団 *Hiroshima Symphony Orchestra*



国際平和文化都市“広島”を本拠地とし、中・四国を代表するプロオーケストラ広響は、下野竜也が音楽総監督を、クリスティアン・アルミンクが首席客演指揮者を務めている。2004年から2016年まで音楽監督・常任指揮者を務めた秋山和慶は、2017年終身名誉指揮者に就任した。現在は年10回の定期演奏会、呉・福山・廿日市・島根での地域定期やディスクバリー・シリーズをはじめ、依頼公演や学校コンサート、巡回コンサートなど年間約140回を超える演奏活動を行っている。これまでに「広島市政功労賞」「広島文化賞」「広島ホームテレビ文化賞」「地域文化功労者賞(文部大臣表彰)」「第54回中国文化賞」「第17回県民文化奨励賞」「第5回国際交流奨励賞」

「文化対話賞(ユネスコ)」「広島市民賞(2013年度)」を受賞。

公式ホームページ <http://hirokyo.or.jp/>